

# 〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回	覧				
---	---	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 171 (通算 472 回)

2010 年 8 月 27 日 (金)

なぜ、継続が可能か? その工夫は——

※延期※

## 事例研究にみる大学資産運用の最前線

～ その運用・ガバナンスとリスク管理の実際～

※ 2年前のリーマンショック・世界金融危機、現下のギリシャ危機・ユーロ不安の中で……

※ 2つの大学法人の〈事例〉とコンサルタント・運用担当者と法人運用責任者との〈対論〉から

### ● 講師・対論陣 ●

梅本 洋一 氏 / インディペンデント・フィデューシャリー (株) 代表取締役  
 法人資金運用コンサルタント 非営利法人資金運用研究会 事務局長

柳川 章 氏 / (学) 常翔学園 財務課長

■ 企画協力 非営利法人資金運用研究会

2010 年 8 月 27 日 (金) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)

地域科学研究会  
高等教育情報センター

日時: 2010 年 8 月 27 日 (金) 13:00~16:50  
 会場: 剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)  
 千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362

アクセス: 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より  
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」  
 麹町口より徒歩 10 分  
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので  
 必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名 (資料代込)  
 50,000 円 (消費税込)

B. 非営利法人資金運用研究会員: 30,000 円

※参加費の払い戻しは致しませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ  
 FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880  
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767  
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658  
 郵便振替 00110-8-81660  
 全ての口座名 < (株) 地域科学研究会 >  
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に  
 代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター  
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106  
 Tel: 03 (3234) 1231 / Fax: 03 (3234) 4993  
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp  
 HP: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

☆ FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

### 研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 171 2010 年 月 日

事例研究にみる大学資産運用の最前線  当日参加  研究会員  
 (□に✓印を入れてください)

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ 連絡部課・担当者 \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (  郵便振替  当日払い  銀行振込 ) 必要書類 [  請求書  見積書 ]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

2年前の世界金融危機から、直近のギリシャ危機・ユーロ不安への変遷のなか、資産運用における『思考停止』のショック状態が続いている大学も多いのではないだろうか。

そもそも、今後の経営環境を考えれば、法人の手持ち資金が多いほどプラスであることは誰もが理解するところである。しかしながら、その手持ち資金を殖やそうとする努力である資産運用にはネガティブな評価が下されがちな昨今であるとは言えまいか。

ところが一方で、ごく少数であるが、このような環境下にあっても、資産運用(手持ち資金を殖やそうとする努力)のポジティブな面を見据えて粛々と継続している大学は存在している。

本セミナーは、そのような大学の資産運用の事例をピックアップし、「なぜ、その大学は資産運用を継続することができているのか?」「現在、資産運用にネガティブな大学とはどこが、どう違うのか?」などについて考察することで、今後の大学資産運用とその運営の参考にしていただくことを意図するものである。

時間	講義項目
13:00 ~ 14:00	<p>□ [事例Ⅰ] 大学法人におけるポートフォリオ運用の実際 インディペンデント・フィデュシャリー (株) 梅本 洋一</p> <p>1. ポートフォリオ運用の素地 (1) 問題意識 (2) ポートフォリオ運用との出会い</p> <p>2. 運用準備 (1) 政策ポートフォリオ (2) 投資方針書 (3) 理事長・理事会説明</p> <p>3. 運用経過 (1) ポートフォリオ運用の開始 (2) リーマンショック (3) リバランス (4) 追加投資 (5) 今後の投資戦略</p> <p>4. リスク管理と今後の課題 (1) 資産運用規程 (2) ミーティング、運用会議 (3) 今後の課題</p> <p>※講師がコンサルタントとしてかかわる大学でのポートフォリオ運用とその管理体制の事例、今後の課題を紹介</p>
14:10 ~ 15:10	<p>□ [事例Ⅱ] (学) 常翔学園の資産運用の実際 ～リスク管理と今後～ (学) 常翔学園 柳川 章</p> <p>1. 2009年度の運用状況について (1) 資金運用基本方針と運用計画 (2) 25件130億円の有価証券投資 (3) 運用成果と評価損</p> <p>2. 運用担当者の役割について (1) 購入する商品の選択 (2) 購入する金融機関の選択 (3) 購入後の管理・報告</p> <p>3. リスク管理について (1) 商品の分散 (2) 償還年度の分散 (3) 第三者による評価</p> <p>4. 2010年度の資産運用について (1) 運用ルールの見直し (2) 資金運用規程の改正 (3) ユーロ危機でチャンス到来</p> <p>※講師が運用担当者としてかかわる大学の資産運用とそのリスク管理の事例を紹介</p>
対論のテーマ	
15:20 ~ 16:50	<p>□ [対論] 大学資金運用の秘訣と留意点 (学) 常翔学園 柳川 章 (進行) インディペンデント・フィデュシャリー (株) 梅本 洋一</p> <p>1. 資産運用を継続する理由は何か?</p> <p>2. なぜ、継続することが可能なのか?</p> <p>3. その為の工夫は、どこにあるのか? ①運用手法は? ②運用規程・管理体制は? ③日常業務は? ④理事長、理事会とのコミュニケーションは? ⑤リスク、評価損への対処は? ⑥その他</p> <p>4. 今後の改善目標は? (質疑応答)</p> <p>※法人運用責任者とコンサルタント・運用担当者の対論を通して、受講者に講義内容を噛み砕いて理解して頂き、本務大学の資産運用の現状分析と今後の参考にしていただく。</p>